

JULY 2019
no.100

I'm home.

JULY 2017
no.100

100th
ANNIVERSARY
ISSUE

特別付録
SHOP &
SHOWROOM
GUIDE
2019-2020

ファッションデザイナー、
高田賢三のパリの住まいとアトリエ

キッチン家電2019

前川國男邸の今

9人のデザイナーに聞く、
住まいの在り方

KITCHEN

美しいキッチンの秘密

ホワイトオーク無垢材と淡いグレーの大理石を用いたシックな印象のアイランド型カウンター（W3000mm×D1000mm×H900mm）が目を引くキッチン（CH2400mm）。シャンデリアのサイズと天井高のバランスをとるため、天井を約150mm削り上げた

Beautiful Kitchen Home

3

快適な居場所が点在する優美な空間

I Residence Fujisawa-shi, Kanagawa

Architecture : KONARA HOUSE

Photographs : Nacasa & Partners Text : Tomoko Yabu



キッチン位置を移動したため、床レベルを80mm上げ中に給排水管を収めている。正面の壁付けカウンター(W1500mm×D665mm×H900mm)の上部は、レンジフードを隠して壁や吊り戸棚と一体化するデザインに



アイランド型カウンターで朝食やお茶を楽しむため、引き出しにはカトラリーを収納。カトラリーのサイズに合わせて調整しやすいよう、可動の仕切りを採用した

海には近い神奈川県・横浜に立つマンションの一室。エントランスから続く廊下を進むと、キッチンカウンターが印象的な、優美な空間が広がっていた。転勤でこの地に移り、両親から受け継いだマンションで暮らし始めたとき、夫妻は10年ほど住んだこの、キッチンやバスルームの劣化が気になり、リノベーションを決意した。設計は建築家小形寛さんと、インテリアデザイナー小形美奈子さん。二人が手掛ける、エレガントなデザインを帯びたことが依頼の決め手となった。

既存の住まいは、すべての居室が狭く、囲まれた閉鎖的な空間。夫妻は家族が集いやすい、開放的なリビング＆ダイニングキッチン并希望した。小形さんは、セミクロスドだったキッチンとリビング＆ダイニングの間の壁を取り払って、リビング＆ダイニングキッチンを約40㎡のワンルームに、西側にキッチン、南側にダイニング、東側にリビングを配置した。

ダイニングは二方が壁に囲われた約4㎡のコーナー空間とし、キッチンとリビングの間にはアイランド型カウンターを配することで、ワンルームながら緩やかにゾーニングされている。

収納が充実した優美なキッチン。壁面をベージュで統一したリビング＆ダイニングキッチンで主役となるのは、天板にグレイの大理石、面材にダークブラウンに染色したホワイトオーク無垢材を用いたシックなアイランド型カウンターだ。周りの空間や壁付けカウンターとは異なる素材と色を使ってコントラストをつけ、存在感を際立たせた。また、リビング側のカウンター下部にはガラス張りの見せる収納を備え、物が集まるキッチンに個性を添えるエレメントに。一方、壁付けカウンターは、横と縦、リビングのタイルクワウンのシンデリアと、トーンを合わせた取っ手やまみをつけて、クラシカルな雰囲気を演出している。

加えて、一部のキッチンの特徴は、多様な食器や調理器具、家電の形状や数に合わせて設計された収納。調理中に使用する主な収納は引き出しで構成し、備えられるため、目で収納物を把握しやすい。さらに、調理の用途と作業位置を踏まえて収納場所を決めることで、スムーズな動線が実現した。リビング北側の壁面にはワインセラーやグラス、茶器などをしまえるミニバーのような収納を、バーカウンタリングにリビングでお酒を楽しむ仕掛けだ。

調和のとれた室内のデザイン。空間全体のインテリアは妻の好みに合わせ、落ち着いたトーンをまとめたラジカルモダンなテイストに、リビングにある構造梁はアーチ状とし、テレビボードの壁にはキッチンカウンターの面材と同じ色を使用した。さらに、空間全体の調和を図るため、リビングのカーテンと、キッチンカウンターの上部に吊るしたラウンジシートに同じ生地を採用。美しく心地よい住まいに仕上げている。

家族が食事やお茶、お酒を楽しむ、思い思いにくつめるキッチンは、日々の生活に彩りを添えてくれる。

調和のとれた室内のデザイン。空間全体のインテリアは妻の好みに合わせ、落ち着いたトーンをまとめたラジカルモダンなテイストに、リビングにある構造梁はアーチ状とし、テレビボードの壁にはキッチンカウンターの面材と同じ色を使用した。さらに、空間全体の調和を図るため、リビングのカーテンと、キッチンカウンターの上部に吊るしたラウンジシートに同じ生地を採用。美しく心地よい住まいに仕上げている。

家族が食事やお茶、お酒を楽しむ、思い思いにくつめるキッチンは、日々の生活に彩りを添えてくれる。

調和のとれた室内のデザイン。空間全体のインテリアは妻の好みに合わせ、落ち着いたトーンをまとめたラジカルモダンなテイストに、リビングにある構造梁はアーチ状とし、テレビボードの壁にはキッチンカウンターの面材と同じ色を使用した。さらに、空間全体の調和を図るため、リビングのカーテンと、キッチンカウンターの上部に吊るしたラウンジシートに同じ生地を採用。美しく心地よい住まいに仕上げている。

家族が食事やお茶、お酒を楽しむ、思い思いにくつめるキッチンは、日々の生活に彩りを添えてくれる。

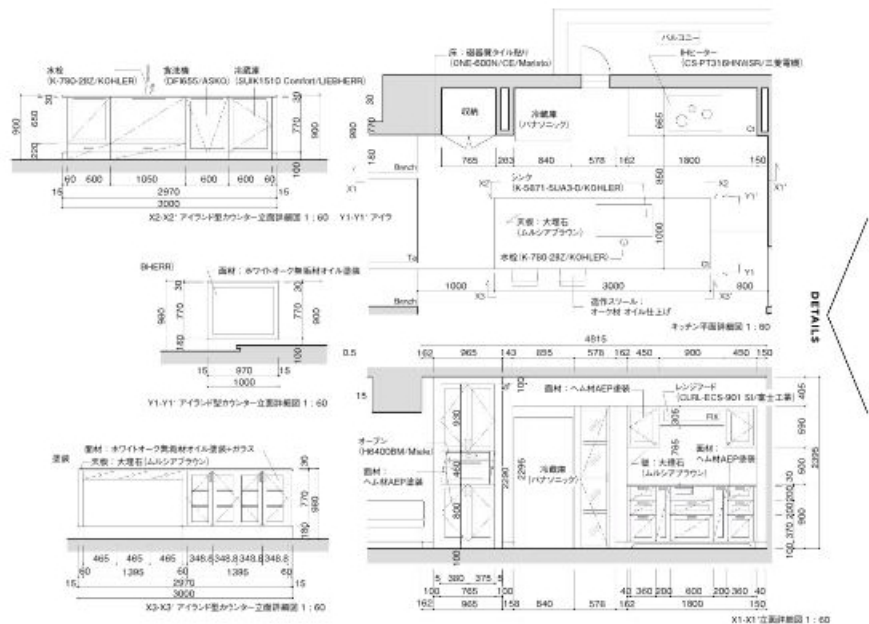
調和のとれた室内のデザイン。空間全体のインテリアは妻の好みに合わせ、落ち着いたトーンをまとめたラジカルモダンなテイストに、リビングにある構造梁はアーチ状とし、テレビボードの壁にはキッチンカウンターの面材と同じ色を使用した。さらに、空間全体の調和を図るため、リビングのカーテンと、キッチンカウンターの上部に吊るしたラウンジシートに同じ生地を採用。美しく心地よい住まいに仕上げている。

家族が食事やお茶、お酒を楽しむ、思い思いにくつめるキッチンは、日々の生活に彩りを添えてくれる。

調和のとれた室内のデザイン。空間全体のインテリアは妻の好みに合わせ、落ち着いたトーンをまとめたラジカルモダンなテイストに、リビングにある構造梁はアーチ状とし、テレビボードの壁にはキッチンカウンターの面材と同じ色を使用した。さらに、空間全体の調和を図るため、リビングのカーテンと、キッチンカウンターの上部に吊るしたラウンジシートに同じ生地を採用。美しく心地よい住まいに仕上げている。

A pull-out spice rack is shown installed in a kitchen cabinet. The rack is a wire mesh structure that extends from the cabinet. It holds several glass jars of spices in the top row and a box of McCormick's All Purpose Seasoning, a bottle of olive oil, and another bottle in the bottom row. The kitchen counter is visible on the left, with a toaster and some bread on it.

A built-in oven with a pull-out drawer containing various dishes. The oven is integrated into a light-colored wooden cabinet. The pull-out drawer is made of a darker wood and is filled with several small, round, white ceramic dishes, some with blue patterns. The oven door is open, showing the interior. The overall design is clean and functional.



上 構造上、リビングの梁が除去できなかったため、アーチ状にしてインテリアのアクセントに。アーチの両端の壁をふかし、モールディングを施した。テレビの右側には本や花器などをしまう収納で、左側にはベッドを収めている

下右 家族3人それぞれの個室が欲しいとの要望から、リビングに収納ベッドを仕込んで以前と同様に3つの就寝スペースに。夫と子どもの個室は、住み心地の個室をリノベーションした下をダイニングスペース(CH2400mm)のペンチソファとテーブルは造作したもの。窓には両日を和らげつつ、室内のインテリアと調和させるため、木製の白いルーバーをデザイン



リビング右側の壁面には、お酒やグラスを入れる棚を設置して開き扉を仕入れ、ミニバーとして活用。リビング(CH2480mm)やキッチンカウンターで、ゆったりとお酒を楽しむ。床はシックなインテリアとなじむ、グレージュの600mm角の磁器質タイル貼りとした



床の窓でブルーを中心にコーディネートした寝室(CH2500mm)。右手の壁一面のみ、白くペイントした板貼りにしてヘッドボードをイメージ。床は柔らかな色味がブルーと調和する。幅広のナタ材フローリング貼りに

Beautiful Kitchen Home

3

DATA

構造と規模 / SRC造 地上9階建ての一室

床面積 / 93.61㎡

建築構成 / 水 (30㎡) 電 (30㎡) 換気 (17㎡)

※仕上げ材料・家具・機器の仕様リストは240頁に記載

上右 / 南北に走る廊下の東側に、約5.5㎡のウォークイン・クローゼット(CH2300mm)を配置。住さいの中央に位置するため家族全員がアクセスしやすい上流/エントランスホール(CH2250mm)から、廊下越しにリビングを見る。開口がたいめ襖は白く塗装。床は白いタイルを敷いて明るい空間を演出した
下右 / 廊下の西側には浴室と洗面室(CH2150mm)を配し、室に向かってドレッサーを造作。窓にはルーバーを取り付け、壁と調和させている
下左 / エントランス(CH2300mm)の右手の収納は、列並に身長度を整えられるようミラーを取り。左手には、靴を脱ぎ履きするためにベンチを造作した

